

子どもたちを犯罪から守ろう

夏休み明けのこの時期は、少年の家出や深夜はいかい等の不良行為等の非行に走りやすく、とりわけ家出少年等については、出会い系サイトや家出サイト等の利用を契機として、悪質な福祉犯の被害に遭うケースが少なくありません。このため福祉犯被害の未然防止と被害が軽微な段階における被害少年及び要保護少年の早期発見・保護を行っています。

子ども達を狙った犯罪を防ぐには
地域ぐるみで見守り活動

をお願いします



セーフティファイブ まもろうね



●ひとりにならない

- ・グループであそびます



●おおごえをだす

- ・こわいとおもったらおおごえでさげびます
- ・ぼうはんブザーをならします



●ついていかない

- ・知らないひとについていきません
- ・知らないひとのくるまにのりません

●はなしをする



●ちかづかない

- ・知らないひとにはちかづきません
- ・あぶないとおもったらすぐににげます



- ・いえのひとにだれとどこであそぶかはなします
- ・いちにちのできごとをはなします

ストップ！詐欺

「プリペイドカードを買ってきて」
「カードに書いてある番号を教えて」
は・・・**詐欺**かもしれません

最近よく話題になっている電子マネー詐欺！1件当たり数万円～数十万円のケースが多いのですが、振り込め詐欺とは違い、高齢者だけでなく中学生などの若い世代にも被害が広がっています。

海津市接客業防犯協会と海津警察署は、多発する電子マネー詐欺被害を未然防止するために、詐欺防止標語入りのうちわを2000枚作成し、市内12店舗のコンビニに配布し、コンビニ利用者のみなさんが詐欺に遭わないよう注意を呼びかけました。



～安全・安心街づくり～



8/11 海津市夏祭り会場において、海津地区少年補導員と海津警察署員で、会場周辺の見回り活動を行いました。



8/15 年金支給日に合わせて、桑名信用金庫 松山支店と一号館において、地域安全指導員らで特殊詐欺防止の啓発活動を行いました。



8/20 帆引新田多目的集会所において、「わたげ」代表牧野光子さんと海津警察署員による、電子マネー詐欺未然防止講話を行いました。

